

ブラックダイヤモンド ATC-XP 取扱説明書

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

注意：ビレイや懸垂下降の技術を正しい説明を受け、学んで下さい。誤った方法でビレイや懸垂下降を行った場合、怪我をしたり死亡したりするおそれがあります。この取扱説明書には、ATC-XPの正しい使い方や限界が書かれていますが、ビレイや懸垂下降の方法は説明していません。

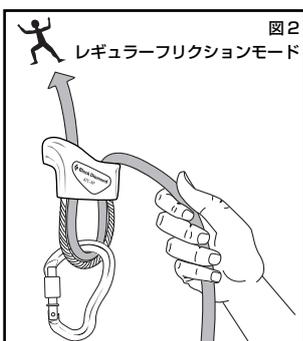
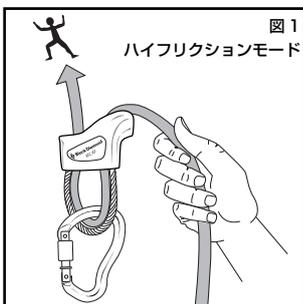
The ATC-XP ? Extra Power - More Control ATC-XP とは？ より強力な制動力

ATC-XPは、ハイ・フリクション・モード(高制動モード)とレギュラー・フリクション・モード(標準制動モード)とに制動の度合いを変えられる器具です。径が細いロープを使用する時やシングルロープで懸垂下降する時、クライマーがムーブを探っている時など、強い制動力を必要とする場合にはハイ・フリクション・モードをお使い下さい。それ以外の通常の状況では、レギュラー・フリクション・モードをお使い下さい。ATC-XPは、ハイ・フリクション・モードで、レギュラー・フリクション・モードの2倍から3倍の制動力があります。従って、様々なビレイや懸垂下降の状況でATC-XPを2つの方法で使用することができます。ATC-XPはロープとの接触面が厚くなっており、優れた堅牢性をもっています。ATC-XPは11mmから8mm径のロープに適合しています。

Instructions For Use 使用方法

ATC-XPはシングルもしくはダブルロープで使用できます。

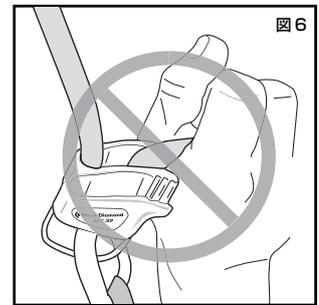
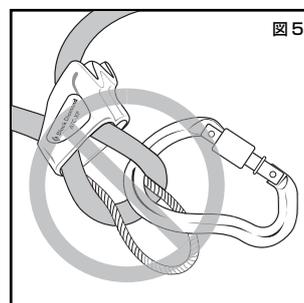
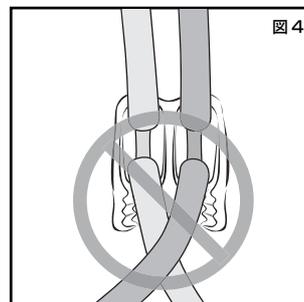
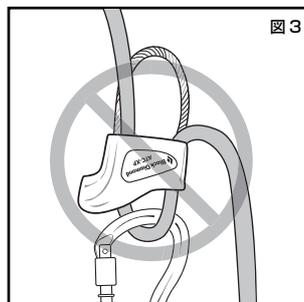
- 1: ケーブルのついていない側の穴から、U字型に曲げたロープを入れて下さい。
- 2: ハーネスに装着されたロックカラビナに、1で通したロープと本体のケーブルの両方を通して下さい。その際、ハイ・フリクション・モードで使用する場合は、ギザギザの溝がある側が制動する手の方に位置するようにして下さい(図1)。レギュラー・フリクション・モードで使用する場合は、ギザギザの溝がない側を制動する手の方に位置するようにして下さい(図2)。



- 3: ロッキングカラビナをロックします。
- 4: 墜落を止めたり懸垂下降をする場合、ロープをしっかりと握り制動側の手を引いて、ロープがギザギザの面に沿うように(ハイ・フリクション・モードの場合)、または本体のエッジに当たるように(レギュラー・フリクション・モードの場合)して下さい。こうすることで制動力が生まれ、ロープに制動をかけて墜落を止めたり懸垂下降で停止したりできるようにします。様々な種類のハーネスがありますので、注意して下さい。ご使用になるハーネスにロックカラビナを装着する場合は、そのハーネスの取扱説明書にしたがって下さい。

Warning 警告

- 1: ATC-XPは、自動ではロープをロックしません。ビレイヤーは、本体を流れてゆくロープを自分で止め、墜落や懸垂下降をコントロールしなければなりません。
- 2: 使用方法で述べた以外のやり方でロープを通してはいけません。
- 3: ATC-XPを逆さにして使用しないで下さい(図3)。
- 4: ロープ同士を交差させたり(図4)、ロープとケーブルを交差させたりしないで下さい(図5)。
- 5: 手の巻き込みを防止するために、ハイ・フリクション・モードで使用する場合、制動側の手を本体から離して下さい(図6)。
- 6: ハイ・フリクション・モードで速く懸垂下降した場合、本体が加熱してロープ外皮や皮膚を焦がしたりするおそれがあります。ハイ・フリクション・モードでを使用した場合、レギュラー・フリクション・モードでを使用した場合と比べ、より発熱しますので注意して下さい。



- 7: 使い古したロープや、外皮がだぶついたロープを使用している場合、ハイ・フリクション・モードではロープ外皮が芯とずれてこぶを作ってしまうおそれがあるので注意して下さい。
- 8: ハイ・フリクション・モードで使用した場合、オートロック・ビレイデバイスほどではないにせよ、クライマーやプロテクションに与える衝撃が増しますので注意して下さい。ルートのプロテクションに不安がある場合は、レギュラー・フリクション・モードで使用することも検討して下さい。
- 9: ATC-XPを岩や氷、雪などに対するプロテクションとして使用しないで下さい。
- 10: ATC-XPをソクライミングのビレイデバイスとして使用しないで下さい。

Care and Wear 点検

お持ちのビレイデバイスが傷んでいる箇所がないか、使用前と使用後に必ず点検して下さい。結局、全てのクライミングギアは消耗品です。以下のような症状がみられた場合、そのATC-XPを廃棄して下さい。

- 1: 使用したロープの明らかな傷み
 - 2: 本体のひびや欠け、荒れ、へこみ、穴など(特に、ロープ接触面の状態が荒れていないかどうか、ケーブルのほつれ、本体を相当の高さから落とした場合などに注意)
 - 3: その他、摩耗、消耗による形状の変化
- ATC-XPを改造しないで下さい。一度でも改造したら、そのATC-XPはダメージを受けていますので廃棄して下さい。少しでもATC-XPの信頼性に疑問があるようなら、廃棄して下さい。廃棄する場合は、再利用されないように壊して下さい。

Storage Tips 保管

- 1: ギアを保管する場合は、清潔で乾燥した環境に直射日光を避けて保管して下さい。
- 2: ストープなどの熱源のそばにギアを保管しないで下さい。
- 3: 酸性物質や溶剤などの腐食性物質にギアを接触させないで下さい。
- 4: 海水など、塩水にATC-XPがさらされた場合は、きれいな水で洗い流して下さい。

Adopting Gear 中古の道具

中古の道具を買ったり譲り受けたりして使うことは絶対にやめて下さい。どのような使われ方をしたのか、わからない道具は大変危険です。